

葬儀後の手続き支援と清浄会館について

福田 浩実 議員

問 家族が亡くなった時に、市役所で必要な手続きを一元的に受け付けてくれる「お悔やみコーナー」を設置すべきと考えますが、いかがですか？老朽化が心配される清浄会館の建て替えや特に斎場の早期バリアフリー化と和室・トイレの改修が必要と考えますが、いかがですか？

答 「お悔やみコーナー」は現在設置する予定はございませんが、今までどおり案内用のリーフレットを活用して丁寧に対応してまいります。清浄会館火葬場と斎場につきましては、市民ニーズや民間施設の状況、地域住民の皆様の声を聞きながら、新庁舎建設後に現敷地内での大規模な改修、もしくは改築を行いたいと考えています。

・他の質問項目：食品ロス削減のさらなる取り組みについて

保育士の処遇改善について

吉川 幸喜 議員

問 今年10月から幼児教育・保育無償化が始まり、待機児童がさらに増加することが見込まれ、保育士の確保が困難になることが予想されます。これから、どのようにして保育士を確保していくのか、また処遇改善をどのように進めるのかお伺いします。

答 保育士の確保につきましては、ハローワークや「保育士のお仕事説明会」等を開催したり、発信の仕方を工夫して、保育士確保に向け、最大限の努力をしております。保育士の処遇改善につきましては、国立保育園は、国の施策として保育士の給与改善を補う補助を実施し、公立保育園は、月額職員、月額職員の賃金アップに向けて、処遇改善に努めてまいります。

高齢ドライバーによる事故防止に向けた取り組みについて

堀川 力 議員

問 高齢ドライバーによる交通死亡事故が相次ぎ、子供が犠牲となる事故も発生しています。高齢ドライバーによる事故防止に向けた対策と、学校や幼稚園・保育園周辺における安全対策強化の取り組みについて、また高齢者の外出支援策についてお伺いします。

答 高齢ドライバーの事故対策として、本市独自の免許返納促進事業の他、高齢者向け交通安全教室の開催や啓発活動、学童誘導などを行っています。通学路の安全の緊急対策では警察と合同点検や危険箇所抽出を行っており、これらを踏まえ対策を検討いたします。また、高齢者の外出支援としては、先進地の事例を検討するとともに住民の互助、地域福祉活動の支援に努めてまいります。

職員の不祥事と管理責任について

丸谷 利一 議員

問 最近、飲酒運転で既に停職になった職員が職場復帰直後にまたまた飲酒運転で事故を起こしたり、電車内で秘書人事課職員が痴漢行為で逮捕されたり、住所を誤魔化し住居手当や交通費を20年近く700万円の不正受給が発覚するなど不祥事が相次ぎ、組織の規律が乱れている。管理監督の最高責任者の市長としてどう考えるのか。

答 職員の不祥事は決してあってはならず、誠に遺憾であり、被害者の方や市民の皆様にお詫び申し上げます。職員に不正をさせないだけでなく、不正ができない、また、不正を許さない組織体制や職場風土を作ることが重要であり、幹部職員も含め、姿勢を明確に示すことにより、意識改革を進めていきたいと考えています。

子供達にわかりやすい通学路について

金銅 成悟 議員

問 歩行者は、原則道路の右側を通行することとなっているが、市内では片側にしか白線（路側帯）やグリーンラインがない道路があり、どこを歩くかわかりにくい。特に通学路において片側にしか白線がない場合は、子供達は道路のどちら側を歩いてよいか混乱している。道路幅員に関係なく、すべての道路の両側に白線やグリーンラインを引き、通学路の安全対策をするべきでないか。

答 道路に路側帯やグリーンラインを設ける場合は、道路幅員、歩車道の最低通行幅員や前後の歩行者の導線を検討し引いています。道路幅員上、片側にしか引くことができない区間もありますが、今後とも子供達にわかりやすく、安全に通学できるよう対策を行ってまいります。

認定こども園と昭和小学校の学童保育について

大垣 良夫 議員

問 本市として、新たな試みである公私連携のこども園への移行をどのように関係団体に説明したのか、またどのように進めていくのかお伺いします。

答 関係団体には、今年4月に昭和保育園東側敷地を取得し、早くとも令和5年4月には昭和保育園と昭和幼稚園を統合し認定こども園として建て替えること、昭和幼稚園は改修し学童保育所として活用すること、また、今年幼稚園に入園された園児を含めた在園児は、そのまま卒園まで通っていただけることを説明いたしました。今後は、建て替えに向けて、具体的な動きが決定すれば、早い時期に関係団体や保護者等に説明し、丁寧に事業を進めてまいりたいと考えております。